



このカードには、エジャイモ®治療を受けている患者様に重要な安全性情報が記載されています。このカードを常に携帯してください。



感染症の症状がみられるものの、担当医師または緊急時受診可能医療機関と連絡が取れない場合、すぐに救急車を呼び、エジャイモ®を投与していることを伝え、このカードを救命救急士、救命救急室のスタッフに提示してください。

裏面もご参照いただき、必要事項を記入してください。

本剤治療により、患者様に自然に備わっている感染症に対する抵抗性が低下することがあります。また、髄膜炎菌や肺炎球菌に対するワクチンを接種していたとしても感染症を予防できない場合があります。特に髄膜炎菌感染症の場合は、髄膜炎または敗血症を発症し、急激に重症化し死亡に至ることがあるため、緊急の治療が必要です。

下記の症状のうち、1つでも該当する症状があった場合は、軽度な場合であっても、緊急時に受診可能な医療機関にご連絡ください。

髄膜炎菌感染症・重篤な感染症が疑われる注意が必要な症状

- ・吐き気や嘔吐を伴う頭痛
 - ・首または背中がこわばる頭痛
 - ・発熱を伴う頭痛
 - ・発熱
 - ・寒気
 - ・発熱と発疹が併発する症状
 - ・インフルエンザのような症状を伴う筋肉痛
 - ・錯乱(感情や思考が混乱する症状)
 - ・光に対して目が敏感になる症状
 - ・咳・呼吸困難
- 他の症状を併発しない場合もご注意ください



この患者様は、エジャイモ®(スチムリマブ)が処方されており、髄膜炎菌や肺炎球菌などの莢膜形成菌及び一般的な感染症の発症リスクが増加しています。

- 髄膜炎菌感染症は早期の認識及び抗菌薬の治療が行われないと致死性的あるいは死亡に至ることがあります。
- 髄膜炎菌感染症や肺炎球菌感染症等の感染症が疑われる場合あるいは否定できない場合には、抗菌薬の投与等の適切な治療を直ちに開始してください。詳しい治療法に関する情報は、最新のガイドラインを参照ください(「細菌性髄膜炎診療ガイドライン」等)。
- 緊急で診察した場合は、エジャイモ®治療病院の担当医師に連絡してください。

本資材は、医薬品リスク管理計画に基づく内容を含む資材であり、追加のリスク最小化活動に該当するページにRMPマークを付与しています。

感染症の予防のため、ワクチンの接種が必要です。
接種したワクチンを下表に記録してください(医師記入)。

ワクチンの種類(接種ワクチンに○をしてください)	接種日
髄膜炎菌ワクチン・肺炎球菌ワクチン・ その他()	年 月 日
髄膜炎菌ワクチン・肺炎球菌ワクチン・ その他()	年 月 日
髄膜炎菌ワクチン・肺炎球菌ワクチン・ その他()	年 月 日
髄膜炎菌ワクチン・肺炎球菌ワクチン・ その他()	年 月 日

最新のガイドラインを参照し、必要に応じてワクチンを追加接種してください。

患者名: _____

RMP

エジャイモ®治療(かかりつけ)病院: _____

担当医師: _____

電話及びメール: _____

緊急時受診可能医療機関

病院名*: _____

連絡先医師名: _____ 電話: _____

※緊急時受診可能病院をあらかじめ担当医師と相談してください。